12 月　高 1 レベル記述模試（2024 年 12 月 8 日実施）

採点基準　英語

3

B

空所補充 (3 点×5 問 [各完答])

設問　次の日本文に合う英文になるよう,それぞれの空所に適する 1 語を書きなさい。

(1)　その都市は今や 10 年前の姿とは大きく違っている。
The city is now very different from (　　)(　　)(　　) ten years ago.

(2)　先生は,全員が議論に参加するように促した。
The teacher encouraged everyone to (　　)(　　)(　　) the discussion.

(3)　誰かが侵入するといけないので,彼らはドアに鍵をかけた。
They locked the door (　　)(　　)(　　) someone might break in.

(4)　彼が劇場に到着したとき,そのショーはすでに始まっていた。
When he arrived at the theater, the show (　　)(　　)(　　).

(5)　この絵は以前描かれたものほど美しくありません。
This painting is (　　)(　　)(　　) the previous one.

【解答】

(1)	what[how]	it	was
(2)	take	part	in
(3)	for	fear	that
(3)別解	in	case	that
(3)別解	just	in	case
(4)	had	already	started[begun]
(5)	less	beautiful	than
(5)別解	ugly	compared	to

【基準】

・各完答

・スペルミス・語形ミスは 1 箇所でもあれば不可（各－3 点）

・ 英字(アルファベット)の大文字・小文字のミスが 1 か所でもあれば不可（各－3 点）

C　20 点満点

【設問】

Do you think elementary school students should have smartphones?
Write your answer in English in 50 to 70 words, providing at least one reason.

【解答例１】

I think elementary school students should have smartphones because they can be useful for educational purposes. There are many educational apps that can help children learn new skills and improve their knowledge. If they are used for the appropriate amount of time and with proper advice from their parents, smartphones can be a valuable tool for learning. Therefore, elementary school students should have smartphones. (64 words)

小学生はスマートフォンを持つべきだと思う。なぜなら,教育目的に役立つからだ。子供たちが新しいスキルを学んだり,知識を高めたりするのに役立つ教育アプリはたくさんある。適切な時間,保護者の適切なアドバイスのもとで使用すれば,スマートフォンは貴重な学習道具になる。したがって,小学生はスマートフォンを持つべきである。

【解答例２】

I think elementary school students should not have smartphones because they might not be able to concentrate on studying. They could spend too much time playing games or using social media, which can negatively affect their academic performance. It is better for them to focus on learning and playing with friends without the distraction of smartphones. Therefore, elementary school students should not have smartphones. (65 words)

小学生はスマートフォンを持つべきではないと思う。なぜなら,学業に集中することができないかもしれないからだ。彼らはゲームやソーシャルメディアに過度に時間を取られてしまい,学業成績に悪影響をおよぼす可能性がある。スマートフォンに気を取られることなく,勉強や友達と遊ぶことに集中したほうがよい。したがって,小学生はスマートフォンを持つべきではない。

1. 語数・英語の正しさ

a. 語数・段落数

ミスの種類	減点数
①語数制限を満たしていない （= 49 語以下／71 語以上）	−20
②指示（一段落で書け）を守らず 複数のパラグラフに分けている	0
③右スペースを多く残して不自然な改行をしている	0
④既定の語数は満たしているが途中で終わっている	0
⑤段落冒頭のインデントがない	0

b. 英語の正しさ

ミスの種類	減点数
①大文字・小文字のミス	0
②句点やピリオドの欠落	0
③i の点や t の棒の脱落	0
④スペルミス	−1
⑤可算名詞が**無冠詞**単数	−1
⑥ ⑤以外の**冠詞**のミス	0
⑦**a** と **the** の不自然な使い分け	0
⑧**単複**の誤り	−1
⑨**動詞**の語形の誤り	−1
⑩**語句**の誤り	−1
⑪文頭に**等位接続詞**を用いている	0
⑫**不自然**な英語	0
⑬構文レベルの誤り	−2

減点が配点を超える場合は 0 点。

2. 内容面

以下の設問指示を無視しているものは, 英語の誤りとは別にそれぞれ該当の点数を減ずる。

Do you think elementary school students should have smartphones?
Write your answer in English in 50 to 70 words, providing at least one reason.

小学生はスマートフォンを所持するべきだと思いますか？答えの中に少なくとも 1 つの理由を添えて、あなたの答えを 50 語から 70 語で書いてください。

ミスの種類		減点数
意味不明 文法・語法の誤りとは別次元で, 文・節レベルで内容的に何を言っているのか伝わらない・論理不整合がある・ 文法点で引けない箇所	① 単語レベルで意味不明	−1
	② 句・節レベルで意味不明	−1
	③ 文レベルで意味不明	−2
構成・内容 明らかに問題のある極端なものがあった場合についてのみ適用	④全く無関係な事柄について書いている	−20
	④ 意見表明とはいえない	−4
	⑤ 論点が質問内容から外れている	−6
	⑦文章構成不適切 先に自分の意見・立場をはっきりさせてから論じていないもの *	−6
	⑧立場を取った理由を説明できていない	−14
	⑨論理不整合がある（文単位）	−4
	⑩全体を一貫した論理不整合がある	−10
途中で終了している	⑪既定の語数は満たしているが 途中で終わっている	0

減点が配点を超える場合は 0 点。

*理由や事例を述べてから, 最後に意見・立場を示すような, 通常の英語の論述展開(意見→根拠)から大きく逸脱しているもの(なお, 意見表明は第 1 文でなくても, 冒頭付近で明示されていればよい/意見表明の前に導入的な文が入っているものは認める)。

(2) 内容説明問題（5 点×2 問）

〈設問指示〉下線部(a)these issues および(b)smart choices that benefit you in the long run はそれぞれどのようなものか。 本文に即して(a)は 15 字程度，(b)は 45 字程度で，それぞれ日本語で具体的に説明しなさい。なお，句読点も字数に含めます。

〈解答例〉①～⑤の番号は下表の部分との対応を表す。
(a) コンサート当日の体調不良と悪天候。（17 字）
(b) ジム通いや講座の受講の継続意欲を維持することを狙った，サンクコスト効果を利用した選択。（43 字）

【下線部・該当箇所】
(a)
①On the very day of the concert, however, you feel sick, and ②it's raining outside. ①You fear getting sicker by going out ②in the rain and joining the crowd at the concert. （①ところがコンサート当日,あなたは気分が悪くなり,②外は雨が降っている。あなたは,①雨の中出かけてコンサートの人混みに加わることで,②さらに具合が悪くなるのではないかと恐れている。）

(b)
Choosing ①a gym membership with a high initial fee and low monthly costs may ②help you stick to a regular gym routine. Another example is paying for ①an online course, which can ②motivate you to stick with it more than if you took a free course. ③Knowing this strategy can help you make (b)smart choices that benefit you in the long run. （初期費用が高く月々の費用が安い①ジムの会員権を選べば,②定期的にジム通いを続けることができるかもしれない。別の例として,①オンライン講座に受講料を支払うと,無料の講座を受講するよりも②継続するモチベーションが高められる。③このような戦略を知っていれば,長い目で見て自分の利益になる賢い選択をすることができる。）

【基準・配点】
・減点は，配点を超えない(他の部分まで減点は及ばない)ものとする。
・著しく意味が異ならない限り，誤字・脱字は減点しない。
・要素が揃っていても，接続語句などの過不足により意味が異なる場合は，**その項目は 0 点**とする。
・以下に言及のない誤訳・ミス・漏れは 1 つマイナス 1 点を原則とするが，**各部分の配点を超えてはならない。特記なく「誤訳」とある場合はマイナス 1 点。**
・項目①~⑤に該当していない箇所を訳出していても採点対象としない。誤訳していても減点しない。
・解答欄をはみ出して解答しているもの（字数オーバー）は－1 点（0 点）とする。
・句読点等の表記法は不問。文末表現も不問。

(a)

箇所・配点	要素・盛り込むべき内容
① 3 点	On the very day of the concert, however, you feel sick「コンサート当日の体調不良」
	○ “day of the concert”の訳し漏れは減点。（－1 点） ○体調不良を”You fear getting sicker”から「体調の悪化」としたものも許容。 ○一般化して「外に出る日」としたものも許容。
② 2 点	it’s raining outside「悪天候」
	○“ raining ”は「雨／雨降り」など広く認める。

(b)

箇所・配点	要素・盛り込むべき内容
① 2 点	a gym membership; an online course （ジムの会員権，オンライン講座）→「ジム通いや講座の受講」
	○“course”は「授業」など意味が通れば広く認める。 ○「ジム通い」，「講座の受講」のいずれかの要素がないものは減点（－１点）。
② 1 点	help you stick to a regular gym routine; motivate you to stick with it more （定期的にジム通いを続けることができる，継続するモチベーションが高められる） →「継続意欲を維持することを狙った」
	○「意欲」は「モチベーション」としても許容。 ○“stick”を「棒」と訳すものは不可。（－１点）
③ 2 点	Knowing this strategy （このような戦略を知っていれば）→「サンクコスト効果を利用した選択」
	○”this strategy”を具体化していないものは不可（－2 点）。 ○「初期費用を高くする」も許容。 ○「サンクコスト効果」は「サンクコスト」としても許容。 ○「選択，選ぶこと」と終えていないものは減点。（－1 点）

(5) 英文和訳問題　5 点満点

〈設問指示〉下線部(c)を和訳しなさい。
〈解答例〉①～②の番号は下表の部分との対応を表す。
①これらの化学物質がたくさんあったとしても，②必ずしも生命が生まれるとは限らない

【和訳箇所】
②life isn't always born ①even if there were lots of these chemicals

【基準・配点】
・減点は，配点を超えない(他の部分まで減点は及ばない)ものとする。
・著しく意味が異ならない限り，誤字・脱字は減点しない。
・要素が揃っていても，接続語句などの過不足により意味が異なる場合は，**その項目は 0 点**とする。
・以下に言及のない誤訳・ミス・漏れは 1 つ－1 点を原則とするが，**各部分の配点を超えてはならない**。
特記なく「誤訳」とある場合は－1 点。
・項目①~②に該当していない箇所を訳出していても採点対象としない。誤訳していても減点しない。
・解答欄をはみ出して解答しているもの（字数オーバー）は－5 点（0 点）とする。
・文末表現の不備は－1 点とする。
・句読点等の表記法は不問。

箇所・配点	要素・盛り込むべき内容
① 3 点	life isn't always born 「必ずしも生命が生まれるとは限らない」
	■ life は「生命/生物/生き物」など.「生活/一生/寿命」は誤訳. ■ not always を「必ずしも～とは限らない」など部分否定として訳出していないものは（-2). ■ be born は「生まれる/誕生する」など.
② 2 点	even if there were lots of these chemical 「これらの化学物質がたくさんあったとしても」
	■ even if を「たとえ～としても」などと譲歩として訳出していないものは(-1) ■ there *were*「～があった/～が存在した」など.「～がいた」は(-1). ■ lots of は「たくさん/多くの/多数の」など表現は広く認める. ■ chemicals は「化学物質」など.「化学の/化学的な」など形容詞として訳しているものは誤訳. ■ even if / lots of / these / chemicals の欠如はそれぞれ(-1)
・同等のことを言っていれば表現は広く認める。 ・構造を理解した上での意訳は認める。	

(6) 内容説明問題　6 点満点

〈設問指示〉下線部(d) these systems の指す内容を,50 字以内の日本語で具体的に説明しなさい。なお,句読点も字数に含めます。

〈解答例〉①～④の番号は下表の部分との対応を表す。
①自身を 1 つに保ち,②自力で栄養を摂取し,③自身を複製するという,化学物質を生命にする ④3 つの仕組み。

【下線部・該当箇所】
This is where you should be careful because we must think about what makes them alive. It is these ④three systems. First, life has to ①keep itself together, often by covering itself with something. Second, ②it must ②feed itself. This involves complex chemical reactions. And third, it has to ③reproduce* itself, which means it must have genes it can pass on.
(何がそれらを生命にするのかについて考えなければならないため,ここは注意するべきところである。それはこれらの④3 つの仕組みである。第 1 に,生命は①自身を 1 つに保つ必要があり,たいていは何かで自身を覆っている。第 2 に,生命は②自分で養分を摂取しなければならない。これは複雑な化学反応を伴う。そして第 3 に,生命は③自身を複製する必要がある。つまり,引き継ぐことのできる遺伝子を持たなければならない。)

【基準・配点】
・減点は，配点を超えない(他の部分まで減点は及ばない)ものとする。
・著しく意味が異ならない限り，誤字・脱字は減点しない。
・要素が揃っていても，接続語句などの過不足により意味が異なる場合は，**その項目は 0 点**とする。
・以下に言及のない誤訳・ミス・漏れは 1 つ－1 点を原則とするが，**各部分の配点を超えてはならない**。
特記なく「誤訳」とある場合は－1 点。
・項目①~⑤に該当していない箇所を訳出していても採点対象としない。誤訳していても減点しない。
・解答欄をはみ出して解答しているもの（字数オーバー）は－6 点（0 点）とする。
・文末表現の不備は－1 点とする。
・句読点等の表記法は不問。

箇所・配点	要素・盛り込むべき内容
① 1 点	keep itself together 「自身を 1 つに保ち」
	■ keep ~ together は「1 つに保つ/まとめる/まとまった状態にする/一緒にする」など. ■ itself の欠如は(-1). ■ 「生命が自身を 1 つに保ち」「生命自身を 1 つに保ち」など，主語の補充や itself の具体的な訳出は不問．ただし，補充した主語や itself が life 「生命」を指していないと認められるものは(-1).
② 2 点	feed itself 「自力で栄養を摂取し」
	■ feed *oneself* を「(人手を借りずに)ひとりで食べる」といったニュアンスで訳出していないものは(-1). ■ feed に当たる箇所は「栄養を摂取する /食べる/養分を得る」など広く認める．「餌を与える/食物を食べさせる」など直訳しているものは(-1) ■ itself に当たる箇所は「自力で/自分で/自身で/独力で」など. ■ itself の欠如は(-1). ■ 「生命が自力で栄養を摂取する」「生命自身で栄養を摂取する」など，主語の補充や itself の具体的な訳出は不問．ただし，補充した主語や itself が life「生命」を指していないと認められるものは(-1). ■ 「(自らを)養う」は許容.
③ 1 点	reproduce itself 「自身を複製する」
	■ reproduce は「複製する/繁殖する」など．「再現する」は誤訳. ■ itself の欠如は(-1). ■ 「生命が自身を複製する」「生命自身を複製する」など，主語の補充や itself の具体的な訳出は不問．ただし，補充した主語や itself が life 「生命」を指していないと認められるものは(-1). ■ 「自らを再生産する」は許容. ■ 「引き継げる遺伝子を持つこと」のみに言及しているものは(-1).
④ 2 点	three systems 「3 つの仕組み」
	■ three の欠如は(-1). ■ systems は「仕組み/システム/機構/系統」など. ■ 「組織/体系」は誤訳(-1). ■ 「～という 3 つのもの」など，three system「3 つの仕組み」の system に対応する部分をそのまま「もの」と訳したと認められる場合は許容. ■ 「～というものや～というもの，～というもの」など，3 つの要素を並列しているだけのものは不可.